



「チーズと塩と豆と」
 井上荒野ほか(著)／集英社
 角田光代がスペイン、井上荒野がイタリア、森絵都がフランス、江國香織がポルトガルと、4人の直木賞作家がヨーロッパの田舎を旅して食べて書く小説集。【荊山】

図書館だより

＊【 】内は所蔵館名



「女騎手」蓮見恭子(著)／角川書店
 レース中の不自然な落馬事故。勝利したのは自分、八百長のはずはない。だが勝利騎手・夏海は事故を調べるうちある疑いを抱き…。女性作家による競馬ミステリー。【長岡】

「ピスタチオ」梨木香歩(著)／筑摩書房
 緑あふれる武蔵野で、老いた犬と暮らすライター。棚。なにかに導かれるようにしてやってきたアフリカで、彼女が見つけたものとは？長篇小説。【中央】

「村上春樹を音楽で読み解く」
 栗原裕一郎ほか(著)／日本文芸社
 「ノルウェイの森」「1 Q 84」など村上作品に登場する音楽は、ジャズ、クラシック、ロックと豊富で幅広い。気鋭の評論家による音楽考。【荊山】

「ローズのにわ」
 ピーター・レイノルズ(作)／主婦の友社
 せかいじゅうをたびしたローズが、あつめた花のたねをもって、おおきなまちにやってきました。そこであったものは？【中央】

おすすめ

子どもの本あれこれ

テーマ ウサギの本

今年の干支『卯(ウサギ)』がでてる子どもの本です。

「ウサギのオッカケ」
 J・ニューサム(文)友だちとはなれてひっこしてきた女の子が、森の中でウサギを見つけました。【中央・荊山】

「ビロードのうさぎ」
 マージェリィ・W・ピアンコ(原作)『子どもにたいせつにされたものは、ほんものになれる』ときいたおもちゃのうさぎ。子どもベヤのきせきのおはなし。【中央・荊山】

…そのほかに、「うさぎのみみはなぜながい」北川民次(文・絵)【全館】
 「しろいうさぎとくろいうさぎ」ガース・ウィリアムズ(文・絵)【全館】
 「いなばの白ウサギ」谷真介(文)【中央】などもおすすめです。



「こうさぎのあいいうえお」
 森山京(作)なかよしのこうさぎとこぎつねとこりすは、これから字をおぼえるところです。うまくかけるかな？【全館】



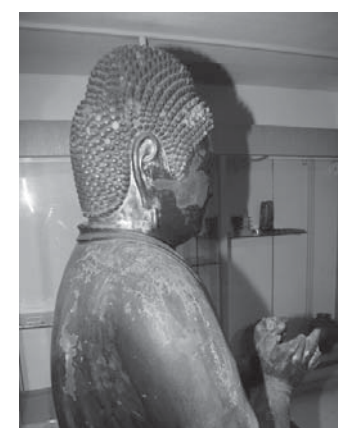
「天の火をぬすんだウサギ」
 J・トゥロートン(作)かしこいウサギがほかのどうぶつたちとたすけあい、地上に火をもってきた昔話。【全館】

スタッフ通信

新しい年を迎えても、図書館の妖精たちは折り曲げられたページや破れたページを直したり、切り取られた新聞や雑誌の書き込みを直したりと大忙しです。妖精は、本を大切にみつめてくれる人が大好きです。
 (荊山図書館 佐野)



願成就院蔵蓮慶仏の代表格・阿弥陀如来座像。講演では「後ろ姿」や「像の内側」の映像も公開



講演中の副島教授(写真右)

人々を惹きつけてやまない、蓮慶仏の魅力。

昨年11月14日に荊山農村環境改善センターで、大正大学の副島弘道教授を講師に迎え、平成22年度伊豆の国市文化財講演会『願成就院の蓮慶諸像と日本の仏像の魅力』を開催しました。

副島教授は、全国各地のさまざまな仏像の調査・研究をしてきた仏教美術の専門家です。その豊富な経験をもとに、願成就院(市内寺家)に安置されている、阿弥陀如来坐像など五体の蓮慶仏(いづれも、国指定重要文化財)を中心に、日本の仏像の魅力や見どころについてわかりやすく解説していただきました。

特に、蓮慶作の仏像については、その容貌、体軀、装束などの特徴はもちろん、通常では見ることのできない「後ろ姿」や「像の内側」の映像も紹介され、同時代の伝統的な仏師の作品に比べて、いかに革新的な表現がなされているかが、講演の中で浮き彫りにされました。仏像は、それが作られた時代に生きる人々を惹きつけ

る魅力を持つていなければなりません。その意味で、蓮慶の仏像には、まさに平安時代から武士の時代である鎌倉時代へと移り変わっていく、ダイナミックな歴史の流れそのものが表出していると言えるのかもしれない。

願成就院の拝観料	
個人	大人 400 円、中高生 200 円、小人 100 円
団体	大人 300 円、中高生 100 円、小人 80 円(団体は 20 人以上、要事前申込み)
問合せ	願成就院 ☎ 055-949-7676

問合せ 社会教育課
 電話 055 - 948 - 1461

文化財通信
 その 67 願成就院の蓮慶諸像と日本の仏像の魅力

問合せ 社会教育課

文化協会(大橋)
 ☎ 0558(76)2935
 ☎ 055(948)1461

平成22年度 広域文化事業
音楽芸能発表会
 歌唱・演奏・朗読 部門

平成23年1月30日(日)午前9:30～
 会場 伊豆市文化ホール(生きいきプラザ)
 主催 伊豆市文化協会・伊豆市教育委員会・伊豆市音楽協会・伊豆市音楽協会
 後援 伊豆市教育委員会・伊豆市音楽協会・伊豆市音楽協会・伊豆市音楽協会
 入場無料です。お問い合わせはお越しください。

とき 1月30日(日) 9時30分
 ところ 伊豆市民文化ホール(伊豆市役所の隣、旧生いきプラザ)

歌謡部と演奏部に所属する11団体が出演します。入場無料ですので、ご家族・ご友人お誘い合わせてご来場ください。

田方文化協会連絡協議会(田文連)は、伊豆の国市・伊豆市・函南町の2市1町の文化協会が構成されており、広域での文化活動を行っています。

文化協会
 だより
 58

田文連文化祭
 (音楽芸能発表会)